



校長だより

# 日中丸



第2号  
H31. 4. 17

日間賀中学校長  
鈴木 康弘

※イラストは、本校生徒 宮地志奈さん が作成

## 新入生歓迎会 4.9(火)

生徒会主催の「新入生歓迎会」が行われました。学校行事を紹介したスライドや校歌を視聴したり、ゲームを行ったりしました。和やかな雰囲気ではが進行されました。後半は、各部が趣向を凝らした部活動紹介が行われました。

生徒会執行部が中心となって企画・運営を行い、2・3年生の新入生を歓迎する温かい気持ちと、新入生の中学校生活をがんばろうという気持ちがよく表れた会となりました。



## 授業参観・PTA総会 4.16(火)

1年生は数学、2年生は社会、3年生は理科、うしお学級は国語の授業参観を行いました。その後、日間賀小中学校合同のPTA総会が開催されました。昨年度の活動報告や今年度の計画、新役員・委員さんが承認されました。新役員・委員の皆様、1年間よろしくお願ひします。



# 前期の級長・生徒会役員・委員長です

日間賀中学校のさらなる成長のため、中心となってがんばってくれることを期待します。

## 【級長】

1年 鈴木 稜生・宮地 姫花  
2年 北川 竜盛・鈴木あおい  
3年 鈴木 好生・鈴木里々香

## 【生徒会役員】

会長 宮地 将也  
副会長 宮地 双葉  
書記 金原 心愛  
会計 鈴木 湊

## 【委員長】

図書 鈴木 莉沙  
環境・美化 鈴木瑠音奈  
広報 岡田 栞奈  
保健・給食 杉浦早里那

## 朝会より 4.15(月)

本校では、決められたテーマについて生徒たちが考えをまとめ、朝会の場で発表しています。今年度も、この校長だよりで紹介します。

### 生徒発表（4月のテーマ：新学年を迎えて）

#### 鈴木はゆさん（1年）

私には新学年になってがんばりたいことが2つあります。1つ目は、今まで以上にもっと勉強をがんばることです。中学校は社会に出る準備の段階だから、社会に出てははずかしくないように、ここでたくさん学んで、がんばりたいです。2つ目は、忘れ物をしないことです。私は、小学校でよく忘れ物をしていたので、中学校ではもう一度しっかり確認してから学校に行きたいです。どちらも普通にできないといけないことだけど、中学生としての自覚をもって、この2つのことを1年間がんばりたいです。2年生と3年生では、また別の目標を立てて中学校生活を大切にしたいです。

#### 大西央典さん（2年）

僕には新学年を迎えて、特にがんばりたいことが2つあります。1つ目は、整理整頓をすることです。机の中やロッカーなどをきれいにし、いつ、だれが見てもきれいだと思えるようにしていきたいです。また、机の上も整頓して授業に集中しやすい環境をつくり、テストでよい点をとれるようにがんばりたいです。2つ目は、1年生の見本になれるような人になるということです。1年生はまだ入学して1か月もたっていないのでわからないことも多いと思います。だから、教えられることがあれば教えてあげたいです。この1年間が充実した1年間になるように、いろいろなことをがんばっていききたいです。

#### 鈴木瑠音奈さん（3年）

私は本年度から受験生になりました。2年前の4月、中学校生活に不安を抱いていたあの頃から早くも2年と考えると本当に月日が過ぎるのが早く感じます。私には3年生を過ごしていくにあたって、常に意識したいと思うことがあります。それは、「毎日大切にすること」です。1日1日を充実させるために、部活動に熱心に取り組んだり、勉強に力を入れたりするなど、普段の学校生活でもこのことを意識して過ごしていきたいと思います。特に、部活動では7月に引退も控えているので、それまでの練習や練習試合などに力を尽くして郡大会を迎えられたらいいと思います。また、いろいろなことにも挑戦して、これからの人生や自分に何かしらのことを生かしたいと思います。

### 中村浩二先生の話

### こんな話をしてくれました。

初めて校歌を聞いたのは3年前です。勤め始めたばかりのこの日間賀中学校にピッタリで、たちまち気に入ってしまいました。3年たった今、日間賀島の豊かな自然と温かい人に囲まれ、成長している日中生の姿が校歌に重なり、歌う度にますます好きになっています。

1番。イメージとして描かれているのは春でしょうか。「さやけく徹る声」学校生活を生き生きと送る生徒の姿。学び、成長していく喜びが高らかに歌われています。“夢は呼べり”。

「雲騰がる」と、夏から秋の時期が描かれる2番。学習や行事・部活動でがんばる姿が思い起こされます。自らを鍛え、お互いを励まし合う声が力強く歌われているように感じます。“意気は高し”。

3番は、冬を乗り越え、春の兆しを感じる季節です。萌え出ずる「草の芽木の芽」はまさに中学生諸君の姿そのもの。根を張り、枝を伸ばし、今後の人生で花を咲かせ、実をつけていく。その希望や決意、そして見守る人々の応援の思いが込められています。“未来燦たり”。

今年も1年間、いろいろな場面で校歌を歌います。歌いながらぜひ、日頃の生活を振り返り、目標を確かめる機会にしてほしいと思います。

